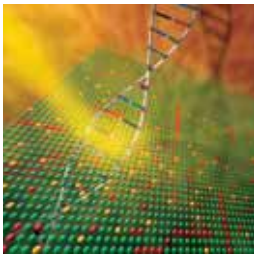
2009-2010

アジレント・テクノロジー アカデミア 総合カタログ

[予算申請用]



Our measure is your success.

Agilent Technologies

Agilent Technologies

INDEX

生命科学のワークフローソリューション……4
生命科学　ゲノム解析・遺伝子発現……6
プロテオミクス・メタボロミクス・メタロミクス……8
各種オミクスのデータマイニング……10
薬学・創薬科学……12
環境・エネルギー科学……16
食品科学……20
物質材料科学……22
法医学……23
LC/MS のラインナップ……24
GC/MS, ICP-MS のラインナップ……25
カラム＆消耗品……26
サポート……27

研究者のパートナーとして…

科学技術の進歩には目を見張るものがあります。
子供の頃に見ていたヒーローもののテレビ番組で隊員達が
使用していた通信機器は、今では『携帯電話』として
ごく当たり前に使われています。
近年でもips細胞の開発が世界中に一大センセーションを
巻き起こしたことは記憶に新しいところです。
現在も、パスウェイ解析を用いた生物代謝経路の解明、
環境に優しく再生可能なエネルギーとしてのバイオマスの研究、
脳科学や革新的ながん治療法の開発といった医療分野の
研究など新しい分野での精力的なリサーチ活動については
枚挙にいとまがありません。

Our measure is your success.

アジレントはプレミアメジャメントカンパニーを目指して
日々成長しています。そして先進的研究者のパートナーとして、
大学・研究機関の基礎 / 応用研究を支え続けます。

アジレントが提供する生命科学分

Agilent Genomics Total Solutions

サンプル調整

RNA品質チェック

バイオアナライザ

マイクロアレイ実験で信頼性の高いデータを得るためにはサンプルの品質が重要です。極めて微量のサンプルで品質チェックが可能なバイオアナライザはマイクロアレイ実験に必須のツールです。

ラベル化

ラベル化キット

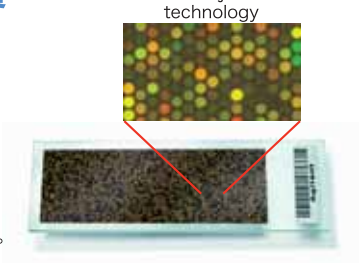
アプリケーションに対応したラベル化キット、プロトコルを準備しています。ラベル化時にQC用のスパイクインを添加することにより遺伝子発現実験の評価を行うことができます。

ハイブリダイゼーション

オリゴDNAマイクロアレイ

高感度、高密度、高品質

ink-jet technology



●カタログアレイ
遺伝子発現
miRNA
CGH/CNV
ChIP-on-chip
CpG Island

アジレントは様々なアプリケーション、生物種のマイクロアレイを揃えています。

●カスタムアレイ – eArray

カスタムメイドのプローブを作成できるアプリケーション“eArray”を提供しています。これによりカスタムアレイを作成するコストを劇的に下げることができます。

ハイブリダイゼーションオーブン/チャンバ

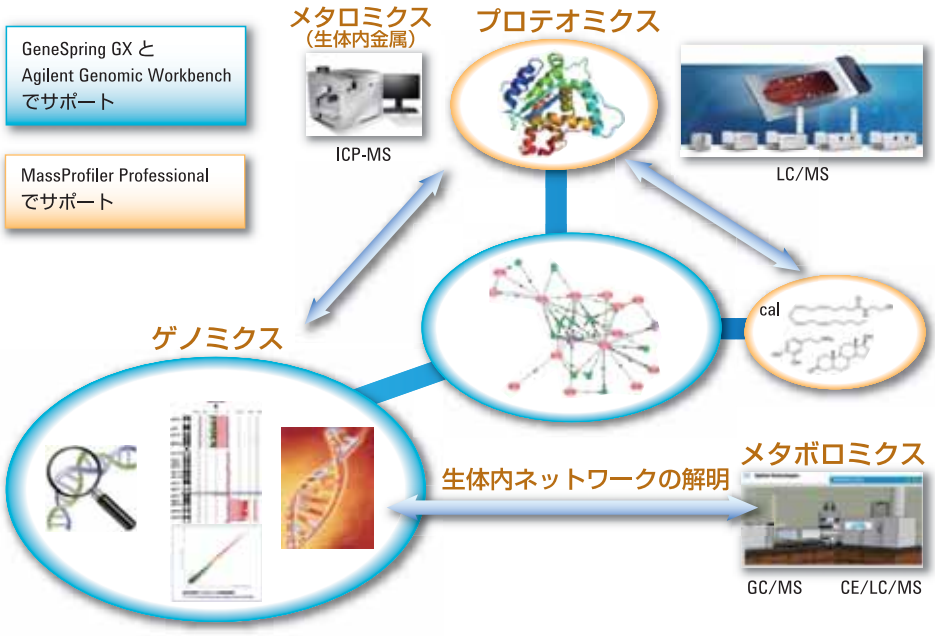
オーブン、チャンバは各アプリケーションで共通です。

システムバイオロジー

マルチオミックス解析をサポートするデータマイニングツールをご提供いたします。

GeneSpring GX と Agilent Genomic Workbench でサポート

MassProfiler Professional でサポート



プロテオーム解析・バイオ定量までのワークフロー

プロテオーム解析・バイオマーカー探索

野のワークフローソリューション

生命科学の新時代を開拓する研究者に本当に信頼できるツールを提供したい

スキャン

スキャナ

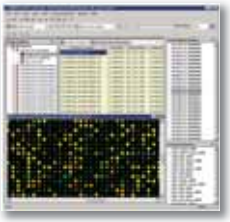
Microarray Scanner

5 logのダイナミックレンジに対応した、世界初のスキャナです。

スポットの数値化

Feature Extraction

スポットの数値化はもちろんのこと、バックグランド補正、色素補正、異常スポットの検出、QCレポートの作成まで自動で行います。



データ解析

データ解析

GeneSpring

GeneSpringは、世界で最も使用されている遺伝子発現解析ソフトウェアです。インターフェースの改良により初心者にも使いやすく、膨大なデータを迅速かつ効率的に解析することができます。

Agilent Genomic Workbench

CGH、ChIP-on-chip、DNAメチル化等のゲノム解析を行うため、強力なビジュアライゼーション機能を搭載し、解析結果をわかりやすく表示・出力します。

バリデーション

データバリデーション

リアルタイム定量PCR

Mx3000P/Mx3005Pは、SYBR®Green Iによるリアルタイム定量解析やTaqMan®プローブによる蛍光ラベル・プローブによるリアルタイム定量解析が可能です。マイクロアレイ解析データのバリデーションに最適です。

マーカー探索から

から定量までのワークフロー

6500シリーズ
HPLC-Chip/Q-TOF

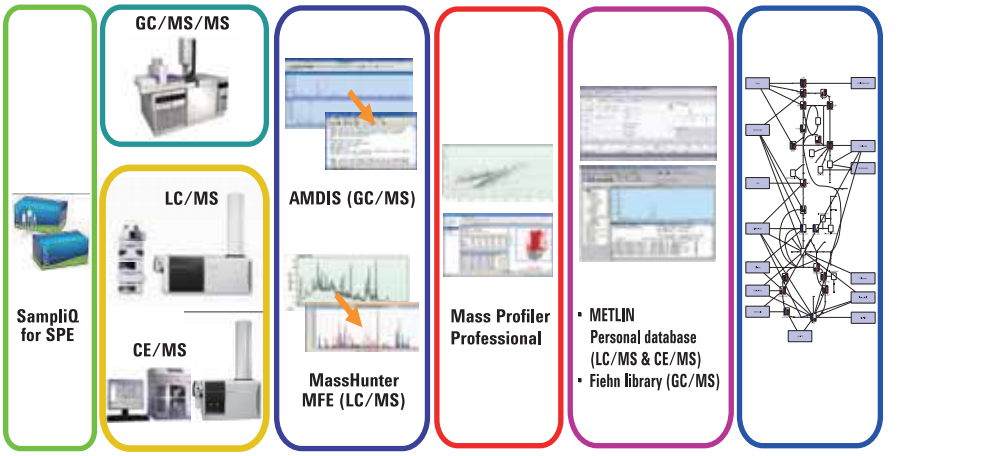
抽出

マーカー探索

同定

データ

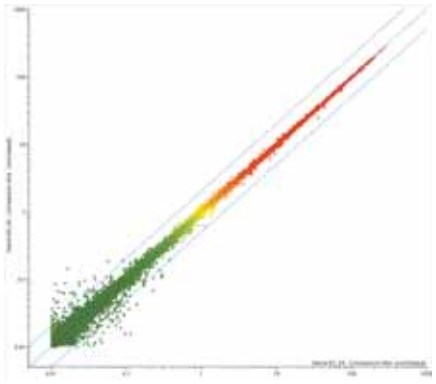
メタボロミクスからパスウェイ解析までのワークフロー



Life Science

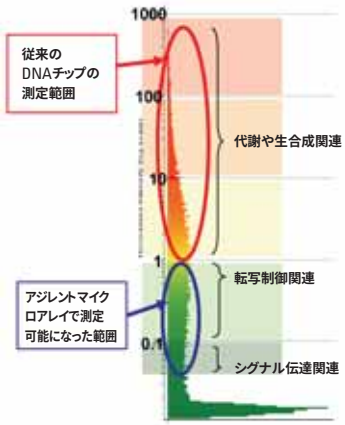
遺伝子発現マイクロアレイ

アジレントの遺伝子発現マイクロアレイは、データ生成に関わるプロセス全てを、徹底的に最適化することにより5 logのダイナミックレンジを達成しました。低発現遺伝子の検出を可能にしたこの次世代高感度マイクロアレイならば、従来ノイズとして扱われていたデータまで、有効な情報として活用することができます。



遺伝子発現マイクロアレイの再現性確認
サンプル：First Choice Human Brain Reference RNA (Ambion製)

特長
- シンプルな実験操作とフレキシブルな実験デザイン
- 幅広いダイナミックレンジで高い再現性を実現
- 低発現遺伝子の検出を可能にした高感度マイクロアレイ
- 幅広い生物種に対応



乳がんセルライン（MCF7）のヒストグラム
縦軸：シグナル強度　横軸：頻度

カタログアレイ ラインナップ

・ヒト	・ブタ	・ハマダラ蚊	・セイヨウアブラナ
・アカゲザル	・ウマ	・線虫	・タルウマゴヤシ
・マウス	・ウサギ	・タバコ	・ワタ
・マウス発生再生	・ニワトリ	・シロイヌナズナ	・オオムギ
・ラット	・アフリカツメガエル	・トウモロコシ	・コムギ
・イヌ	・ゼブラフィッシュ	・イネ	・トマト
・ヒツジ	・サケ	・出芽酵母	他多数
・ウシ	・ショウジョウバエ	・イネいもち病菌	

5 log のダイナミックレンジ実現の決め手

遺伝子発現マイクロアレイやmiRNAマイクロアレイで5 logのダイナミックレンジを達成するには、スキャナも重要な要素の一つです。アジレントスキャナは、市販のスキャナで唯一、20 bitでのデータ取り込みを実現。1回のスキャンで5 logのダイナミックレンジを達成しました。さらにその低いノイズレベルにより、CGH/CNVマイクロアレイやChIP-on-chipマイクロアレイ、CpG Islandマイクロアレイの生データのS/N比を著しく向上させます。

システム構成
- DNAマイクロアレイスキャナ本体
- コンピュータ
- スキャナコントロールソフトウェア
- Feature Extraction（数値化解析ソフトウェア）

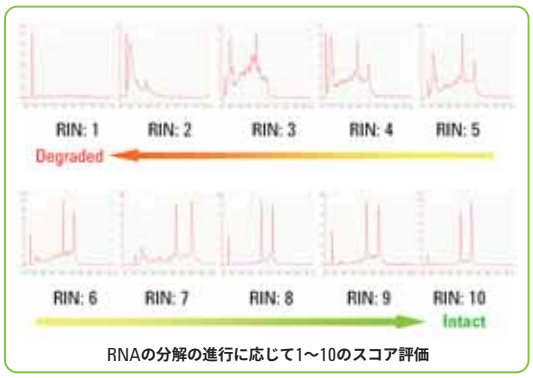
特長
- 1×3インチ（25×75 mm）スライドグラス対応
- ダイナミックオートフォーカシング機構
- 高感度検出
- ダイナミックレンジ5 log（20 bit）の実現
- 高解像度スキャン（高分解能仕様2 m・3 m）
- 自動高速スキャン（8 min～、プレスキャン不要）
- 高速全自動スポット数値化、QCレポート
- レーザー安定化機構採用

高分解能仕様　価格 **1,670万円**（税別）
価格 **1,360万円**（税別）

Life Science

RNA品質確認の世界標準　Agilent 2100 バイオアナライザ

RNAは極めて分解しやすく、その分解度が実験結果に非常に大きな影響を与えます。そのため、マイクロアレイ実験や定量PCRなどRNAを用いる実験では、実験前に試料RNAの品質を確認することが極めて重要です。バイオアナライザはわずか1 µLのサンプルで、RNAの品質を客観的に評価できるため、数多くの論文でも取り上げられ、RNA品質確認ツールの世界標準となっています。



RNAの分解の進行に応じて1〜10のスコア評価

DNA、タンパク質など幅広いアプリケーションにも対応
Agilent 2100 バイオアナライザは、RNA以外にもわずかなサンプル量でDNAやタンパク質も高感度に分析ができる非常に便利なツールです。

特長
- **RNAの品質確認の世界標準**
- **マイクロチップ型電気泳動装置**
- **わずか**1 µL（50 pg）**の**total RNA**で測定可能**
- **簡便な操作**
- **全自動のデータ解析（濃度、分子量、**RIN**、**rRNA**比計算など）**
- **優れたデータ再現性**

システム価格　301万円〜（税別）

遺伝子の発現量解析やマイクロアレイの解析データのバリデーションに最適

Mx3000P/Mx3005P リアルタイム定量PCRシステム

アジレントのマイクロアレイデータのバリデーションにMx3000P/Mx3005P リアルタイム定量PCRシステムが利用できます。Mx3000P/Mx3005P システムは96ウェルフォーマットで、SYBR® Green I アッセイおよび蛍光ラベルプローブアッセイに対応しています。遺伝子定量解析に最適な試薬や、アジレントマイクロアレイのサポートと連携したQPCR解析サポートが整った、アジレントマイクロアレイのバリデーションに最適なシステムです。

微小な発現量の差、染色体やコピー数の差を相対的に定量し、その有意差を出すためには高い再現性が必要です。
Mx3000P/Mx3005Pの蛍光検出システムは、96全てのウェルにおいて、検出部とサンプル間の距離が一定となるよう検出アームがサンプルの直上をスキャンする方式が採用されています。
このシステムで得られた結果は検出系に影響されず、ウェル間での距離補正が不要で、再現性の高い結果が得られます。

Mx3000P リアルタイム定量 PCR システム（コンピューターと専用ソフト付）
システム価格　350万円（税別）

Mx3005P リアルタイム定量 PCR システム（コンピューターと専用ソフト付）
システム価格　450万円（税別）

生命科学
プロテオミクス・メタボロミクス・メタロミクス

Life Science

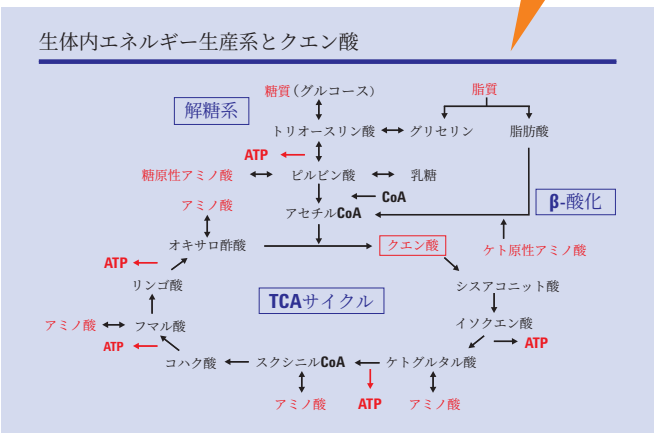
メタボローム解析用 LC/CE-Q-TOF MS システム

キャピラリ電気泳動－質量分析法（CE-MS）は、イオン性代謝物質の分析技術を著しく向上させ、誰にでも容易に高速、高分離、高感度測定を実現します。またHPLCとCEという２つの分離手法を合わせ持つLC/CE-Q-TOF MSシステムは、イオン性、水溶性、中性、脂質等の広範囲の代謝物質の網羅的な分析を可能にします。さらに多変量解析ソフト（Mass Profiler Professional）とパスウェイ解析ソフト、代謝物データベース（METLIN）までをワンベンダーで提供できます。

システム構成
- 6520 Q-TOF MS
- **キャピラリ電気泳動**
- 1200**シリーズ**HPLC
- **窒素ガス発生装置**
- Mass Profiler Professional **多変量解析ソフト**

システム価格 7,400万円～（税別）

これらの分析には
CE/MSが最適!!



Agilent-HMT CE-TOF MS メタボローム・ソリューションシステム

アジレントとHMT社がイオン性代謝物質の分析から解析までを容易に実現します！アジレントのCE-TOF MSシステムを用いて、メタボローム解析を効率的に行うためのソリューションシステムです。HMT（ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ）社からサンプル調製、分析メソッド等の必要なツールを提供し、お客様のサポートとトレーニングを行い、データライブラリ、候補化合物検索サービスもご提供します。

システム構成
- 6224 TOF MS
- **キャピラリ電気泳動**
- **窒素ガス発生装置**
- HMT**メタボロミクスソリューションパッケージ**
  - サンプル調整法
  - 分析方法
  - 試薬（陽イオン、陰イオン分析用）
  - 代謝物データライブラリ
  - 候補化合物検索サービス

HMT

システム価格 5,200万円～（税別）

Life Science

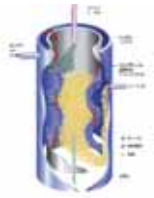
メタボローム解析用 GC/MS システム

最新の分離機能と最高の生産性を備えたAgilent 7890 GC、革新的なAgilent 5975CシリーズMSD、GERSTEL社製多機能オートサンプラ（MPS2）の組合せにより、誘導体化、大容量注入、バックフラッシュ、ハートカット等様々な機能で生体サンプルの代謝物分析の自動化が可能となります。約1,000種類の代謝物質が登録されたFiehn メタボロミクス GC/MS ライブラリで未知化合物の同定も容易になります。

システム構成

- 5975C シリーズ GC/MSD システム
- 7000 シリーズ　トリプル四重極 GC/MS システム New
  - 省スペース（36 cmの横幅）、高感度、500 MRM/秒
  - "ヘリウムクエンチ"コリジョンセルで低ノイズ化
  - MassHunterソフトウェア
- 7890 ガスクロマトグラフシステム
  - Quick Swap　バックフラッシュ
  - Deansスイッチ　ハートカット
- GERSTEL社製
  - MPS2　多機能オートサンプラ
  - CIS4　ラージボリュームインジェクション
- DRS デコンボリューションソフトウエア
- Fiehn メタボロミクス GC/MS ライブラリ New
  - 登録化合物数1,067

GERSTEL MPS2、ALEX



CIS4

5975C GC/MSシステム

New

7000シリーズトリプル四重極GC/MS

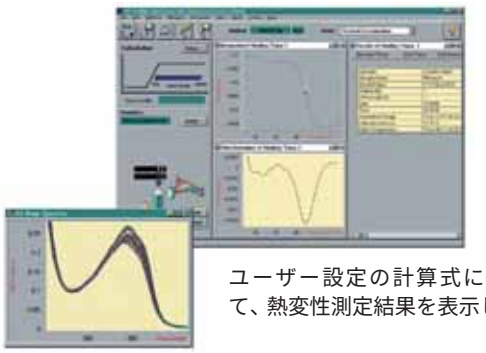
システム価格 **2,500万円～（税別）**

ダイオードアレイ式分光光度計システム

Agilent 8453 ダイオードアレイ式分光光度計

熱変性測定

ペルチェ式温度コントローラを用いて、DNA 溶解試験やタンパク質の変性といった熱変性の測定を行うことができます。また、任意の多段階の加熱/冷却プログラムを実施することができ、さらに実際の実測温度や設定温度を画面に表示し、確認することができます。AverageメソッドやDerivative メソッドを用いて、転移温度を計算したり、ユーザー設定可能な計算式に基づいて%GCを算出して結果を解析することができます。



ユーザー設定の計算式に基づいて、熱変性測定結果を表示します。

特長

- サンプルの取扱に便利なオープンサンプルエリア
- 本体の前面に測定ボタンを配置しており、手袋装着での操作が可能
- 酵素カイネティック測定やDNA溶解試験、タンパク質の変性測定も可能（バイオケミカルソフト使用時）
- 波長範囲：190-1,100 nm
- 迷光＜0.03 %
- セル設定温度範囲：5～90°C（外部恒温水循環装置の接続による）

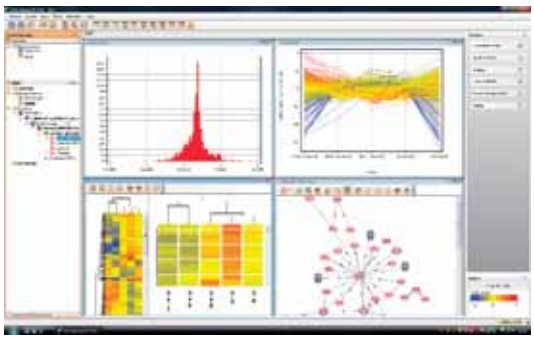
システム価格（本体、PC、ソフト含む）**180万円～（税別）**

生命科学　各種のオクミスのデータマイング

Life Science

発現解析ソフトウェアの業界標準　GeneSpring GX

遺伝子発現データは膨大かつ複雑なデータです。その中から生物学的な知識を引き出すデータマイニングにおいて、GeneSpring GXは直感的な視覚機能とパワフルな解析機能を兼備えた発現解析のソフトウェアとして、世界で最も多く使用されている業界標準ソフトウェアです。販売以来、7,000報を超える論文で使用されています。



アカデミック価格　60万円～（税別）
コマーシャル価格　160万円～（税別）

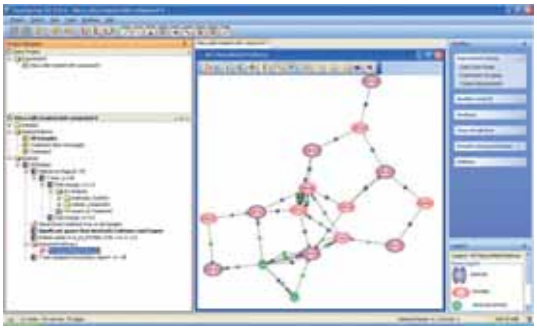
※下記MPPとの統合モジュールを搭載することで、ゲノミクス、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボロームの各種オミクス解析との統合解析が可能となります。（MPPモジュールは、2009年冬頃リリース予定）

- **マイクロアレイ解析に必要な機能を搭載**
  データの正規化・フィルタリング・統計検定・多変量解析・GO解析・Pathway解析などマイクロアレイのデータ解析に必要な機能を搭載しています。
- **対応アプリケーション**
  遺伝子発現（全てのプラットフォームに対応）、miRNA発現解析、Exonアレイ解析、定量PCRデータに対応しています。
- **解析ガイド機能で初心者でも簡単に解析**
  Guided Workflow機能で迷うことなく解析を進めることができます。また、上級者にはAdvanced Analysisで詳細な解析が可能です。
- **大規模なデータ解析**
  GeneSpring Workgroupシステムを導入することで、1,000サンプルを超えるデータセットを扱うことが可能です。
- **トレーニングコースを定期的に開催**
  一人一台のパソコンを使用してのハンズオントレーニングを定期開催しています。

システムバイオロジー研究に必須の質量分析データ用多変量解析ソフトウェア

使いやすいワークフロー画面

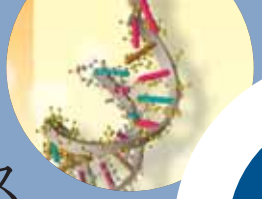
代謝物質量分析データは膨大な数の化合物ピークを含むため、埋もれているバイオマーカーを探索し、変動パターンを理解するのは至難の業です。
信頼性の高いアジレントLC/MS、GC/MS、CE-MSの質量分析結果を多変量解析ソフトウェアMass Profiler Pro. (MPP) で解析することで、有意な変動をするバイオマーカーを抽出、可視化することができます。これにより、ターゲットの同定作業が誰にでも行えます。MPPのPathway機能（オプション）により、バイオマーカーの変動パターンと同定した化合物名を生物内の物質関連図として表示します。



メタボロミクス研究を効率的に行える様々な画面表示・機能

アジレントの質量分析装置とMPPを組み合わせることで、質量分析の前処理から分離・検出・データ解析まで、一連のメタボロミクス研究を強力にサポートします。

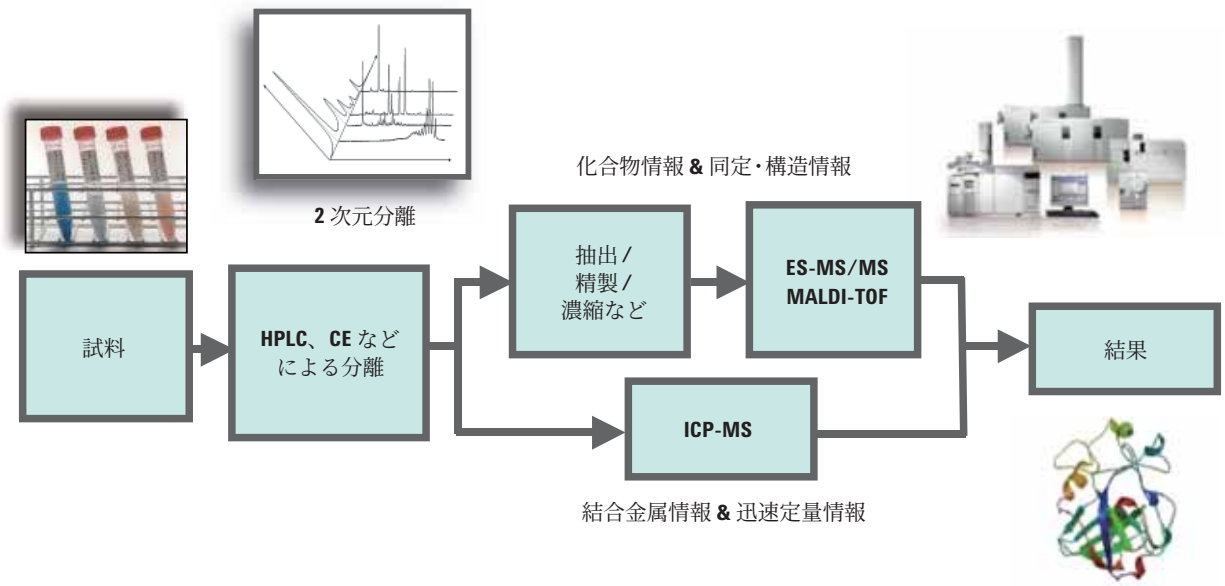
価格　160万円～（税別）



Life Science

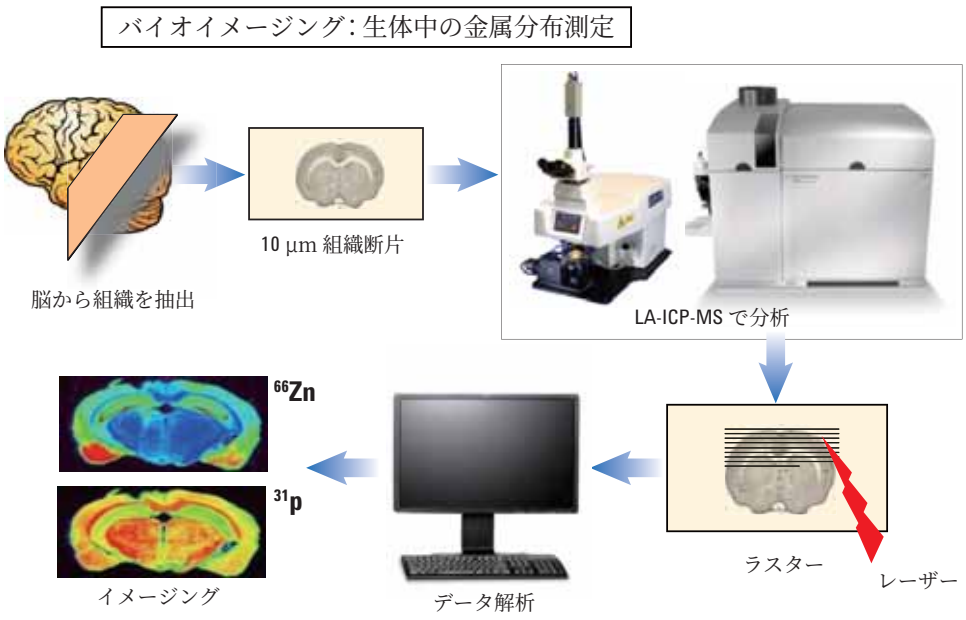
メタロミクスにおけるアジレントのポートフォリオ

メタロミクス（生体中の金属メカニズム解明、バイオマーカーの研究、リン酸化プロセスの研究など）においても、アジレントの幅広いポートフォリオはさまざまな研究課題で威力を発揮します。



メタロミクス
ICP-MSによる微量金属分析、金属結合タンパク分析

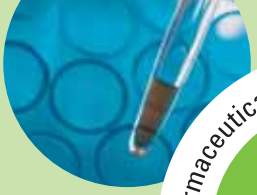
ICP-MSは微量元素の定量に優れ、メタロミクス（生体中の金属メカニズム解明、バイオマーカーの研究、リン酸化プロセス）、金属製剤（シスプラチン等）、輸液中の金属分析、製剤中の金属不純物分析で威力を発揮します。
対象元素：Fe, Ca, Mg, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb, Pt, Se, As, P ...



システム構成
- ICP-MS
- HPLC-ICP MS
- **キャピラリ**LC-ICP MS
- **レーザー**ICP-MS

システム価格（ICP-MSの例）
2,450万円～（税別）

薬学・創薬科学



Pharmaceutical Sciences/Drug Discovery

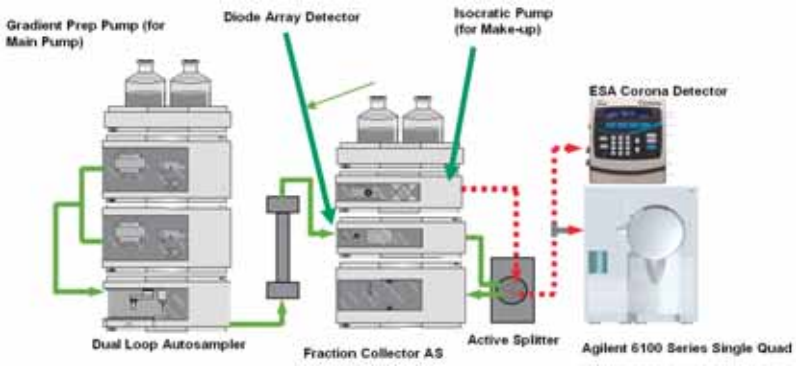
薬学研究に対応する各種分取精製システムラインナップ

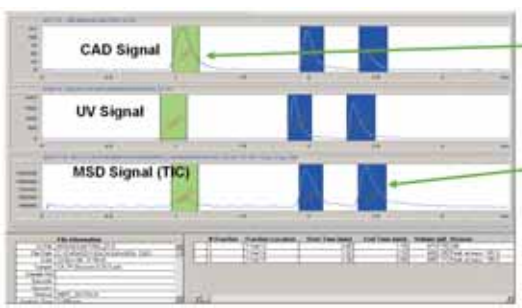
Agilent 1200シリーズ自動分取精製システムは、お客様の分析スケールにあわせて、あらゆる分野での分取精製アプリケーションに対応します。

高精度な高流量分取分析を実現	コンベンショナルLCの最高峰	最高の超高速高分離を実現	高精度微量分析を提供
分取システムPreparative	クォータナリ & アイソクラティックシステム / バイナリシステム	Rapid Resolution LC システム	キャピラリ & ナノシステム
分取スケール 分取精製システム	**分析スケール 分取精製システム**	**高速高分離 分取精製システム**	**ミクロ分取精製システム**
システム価格 **1,080万円～（税別）**	システム価格 **910万円～（税別）**	システム価格 **1,000万円～（税別）**	システム価格 **1,200万円～（税別）**

複数検出器ベース自動分取精製システム　－分取、天然物、創薬科学－

UV検出器だけでなく、Single MS、さらには蒸発光散乱検出器（ELSD）、そして他社検出器（ESA製コロナ検出器等）をトリガーとしたフラクションンコレクションを提供いたします。選択性の高い検出器を多彩に組合せ、必要な成分のみを確実に分取精製することができます。





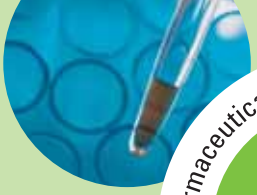
コロナ検出器をトリガーとして分取

MSトリガーで分取

Agilent ELSD（G4218A）やRID、その他様々な検出器のシグナルをトリガーとしてフラクション可能！

システム価格 **2,440万円～（税別）**

薬学・創薬科学



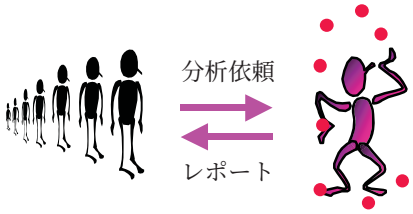
Pharmaceutical Sciences/Drug Discovery

天然物、合成物の組成確認

- **天然物のスクリーニング（探索）RTと精密質量による データベース化 未知化合物の探索**
- **質量精度：**±1 ppm
- **稼動率が極めて高い生産性を重視した装置**

精密質量による候補化合物の絞込みが可能！
多くのユーザーが様々なサンプルを測定可能なオープンなシステム！

従来



機器管理者に負荷

Easy Access

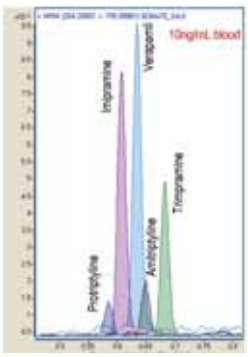
レポート　　ケミストも迅速簡単にレポート入手

ユーザー（ケミスト）はサンプルをセットするだけ。結果はe-mailで返信

システム価格
- **LC-シングル四重極システム 2,100万円～（税別）**
- **TOFシステム 3,860万円～（税別）**

薬物動態研究向けトリプル四重極LC/MS/MS

Agilent 1290 Infinity LC (UHPLC)とトリプルQuad MS/MSを組み合わせた定量用システムで、ADME/PK試験に最適です。
Half life time、stabilityなどの“ answer ”がLC/MSから直接レポートされます。
すべてをアジレント1社で供給サポートでき、研究効率がアップします。



特長
- 1290 Infinity LC**バイナリーポンプ**
- 1290 Infinity LC**オートサンプラ**
- 1290 Infinity LC**カラムコンパートメント（10ポートバルブ付き）**
- Agilent ZORBAX RRHD SB C18 2.1 mm x 50 mm, 1.8 µm **カラム**
- 1290 Infinity LC **ダイオードアレイ検出器**
- 6460**トリプル 四重極** MS/MS
- MassHunter **ソフトウェア**（MS/MS**条件最適化ソフト**Optimizer**内蔵**）
- **窒素発生装置**

システム価格 4,000万円～（税別）

薬学・創薬科学

血中薬物　超高感度・高分離 Chip/MS/MSシステム

UHC 低分子 Chipにより、生体由来の複雑なサンプルを20 pg以上ローディングできます。また、コンベンショナルなLC/トリプルMS/MSと比較して、100倍の感度アップを可能にします。プラズマ中の低分子でのパフォーマンスは、オンカラムでμL プラズマあたり10 fg (10 pg/ml Plasma) です。

システム構成
- HPLC-Chip Cube **インターフェース**
- **ナノポンプ ＋ キャピラリポンプ**
- **高性能マイクロオートサンプラ（冷却機能付）**
- UHC **低分子**Chip
- G6410BA **トリプル 四重極** MS/MS
- MassHunter **ソフトウェア**
- **窒素発生装置**

UHC 低分子 Chip は、500 nl 濃縮カラムと
75 µm x 150 mm 分析カラムから構成
充填剤は 5 µm ZORBAX SB-C18 (80A).

トリプル四重極MS/MS

システム価格 5,000万円～（税別）

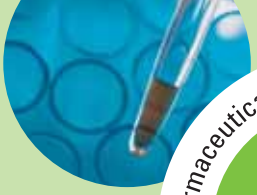
代謝物同定用 Q-TOFシステム

Agilent 1290 Infinity-LC、6540 Q-TOFとMassHunter Metabolite IDソフトウエアにより代謝物同定は効率化されます。最高性能のU-HPLCと、Q-TOFの 1 ppmの質量精度、40,000以上の分解能により同定精度が格段に向上し、また、5桁のダイナミックレンジと高感度により、高濃度の化合物中に存在する微少量の代謝物検出も可能になります。

システム構成
- Agilent 1290 U-HPLC**システム**
  - バイナリポンプ
  - 高性能オートサンプラ
  - カラムコンパートメント
  - ダイオードアレイ検出器
- 6540 Accurate Mass Q-TOF
- MassHunter **ソフトウェア**
- MassHUnter Metabolite ID**ソフトウェア**
- **窒素発生装置**

代謝物同定用Q-TOF**システム**

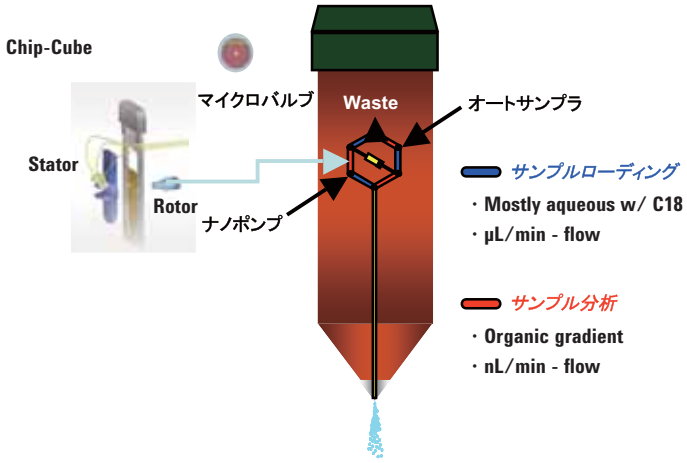
システム価格 8,500万円～（税別）



ナノフローLCに変わる次世代 Chip LC

HPLC-Chipの詳細

全自動で濃縮分離を行います



サンプルをロスすることなく質量分析計へ直接スプレーされます。

Chipの種類

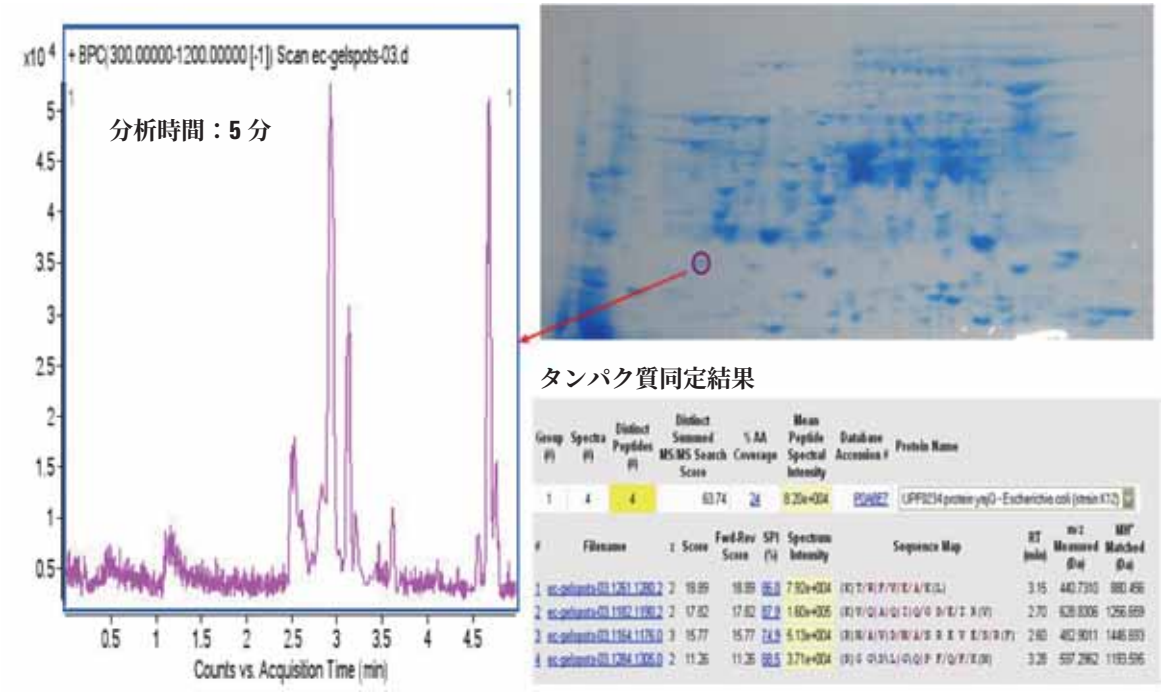
- **Protein ID Chips**
  ペプチドの分析用のChip
- **Intact protein Chip**
  インタクトタンパク質を分析するChip
- **Glycan Chip**
  極性の高い試料や幾何異性体やジアステレオ異性体などを分析するChip (糖鎖など)
- **Small molecule Chip**
  低分子化合物の分析用のChip
  (Metabolite ID, DMPKなどに使用)
- **Ultra-High Capacity (UHC)-Chip**
  低分子化合物用とペプチド用の2種類
- **Direct Injection Chip**
  サンプル濃縮無しでサンプルを分離カラムに直接注入
- **Phospho-chip**
  リン酸化ペプチド分析用のChip
  (TiO2を使用したリン酸化ペプチドの濃縮)

＊Custom Chip も承っています

- **Chip価格　6万円～（税別）**
- **HPLC-Chip /Q-TOF　システム価格　7,800万円～（税別）**
- **HPLC-Chip /トリプル四重極　システム価格　5,000万円～（税別）**

Chip LCを使ったソリューション

2次元ゲルスポットの迅速なタンパク質同定



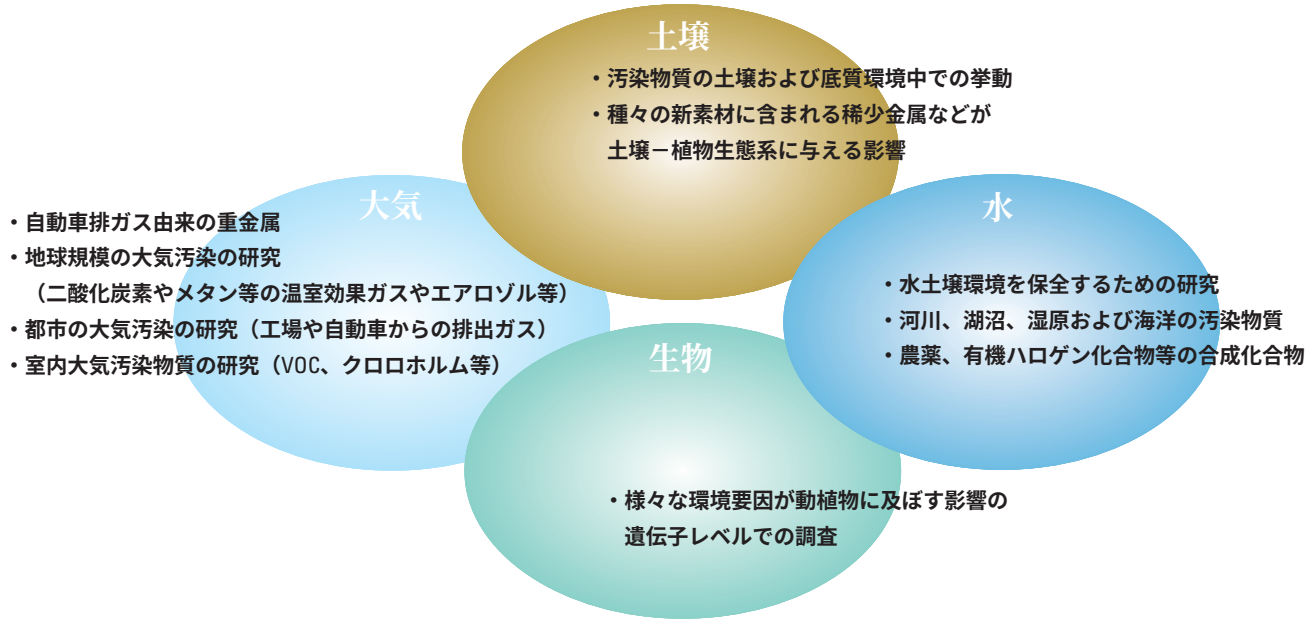
HPLC-Chip/MSにより2次元ゲルスポットに対して測定時間5分でタンパク質同定が可能です。
その他、糖ペプチドやリン酸化ペプチドも濃縮し、迅速な同定が可能です。

環境・エネルギー科学

Environmental Science / Energy Science

環境分析

アジレントは生物から大気まで様々な形態の試料、アプローチ、分析手法を提供いたします。



ご提供できる環境分析システムの一例

システム構成
- ガスクロマトグラフ
- uECD検出器
- データ処理装置

主なアプリケーション
- 土壌中のPCB
- 大気中NOx、SOx

システム価格
450万～（税別）

システム構成
- ガスクロマトグラフ
- 質量検出器
- データ処理装置
- ライブラリ

主なアプリケーション
- 排水環境ホルモン類
- VOC

システム価格
1,200万～（税別）

システム構成
- 2液グラジェントポンプ
- UV検出器
- データ処理装置

主なアプリケーション
- 室内大気中ホルムアルデヒド

システム価格
400万～（税別）

システム構成
- トリプル四重極質量分析計
- 高速液体クロマトグラフ
- データ処理装置
- N2ガス発生装置

主なアプリケーション
- 排水中　PFOS/PFOA

システム価格
3,400万～（税別）

環境・エネルギー科学

バイオマス/バイオリファイナリー

近年、化石資源の枯渇、地球温暖化の環境問題で、再生可能な資源（バイオマスなど）からのエネルギー供給の期待が高まっています。菌体による発酵プロセス代謝物解析、反応による複生成物（阻害物質など）の検出などのバイオマス関連の研究において、アジレントの高性能GC/MS、LC/MSファミリーは高い信頼を得ています。

揮発性有機物測定

GC/MSシステム構成
- 7890ガスクロマトグラフ
- 5975C質量選択検出器
- 7693Aオートサンプラ

システム価格
1,200万円～（税別）

GC/MS/MSシステム構成
- 7890ガスクロマトグラフ
- 7000Aトリプル四重極GC/MS
- 7693Aオートサンプラ

システム価格
2,500万円～（税別）

極性有機物測定

LC/MS-TOFシステム構成
- 1290 Infinity LC
- 6200シリーズ TOF LC/MS

システム価格
4,000万円～（税別）

触媒評価の分析

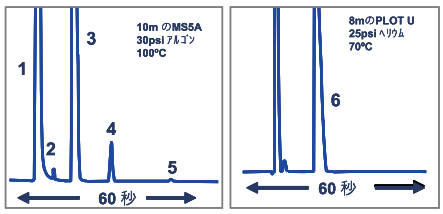
Agilent 3000マイクロGC

マイクロGCを使用することにより、燃料電池などの改質ガス測定などもわずか数分で分析が可能になります。サンプル注入口、カラム、検出器（TCD）が一体となったポータブル型で、どこにでも置け、パイロットプラントにも直結しガスの評価分析ができます。

特長
- **無機ガスから有機ガスまで幅広い分析を**
  最大4チャンネルの独立カラムによる同時高速分析が可能
- **低ppmレベルからの分析**
- **小さくても広いダイナミックレンジ**
- **液化ストリームによりサンプルを過熱することもできます**

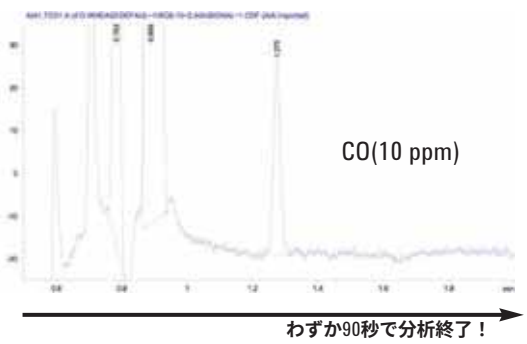
システム構成
- 3000マイクロGCシステム
- 装置コントロール、解析ソフト

システム価格 **350万円～（税別）**



1. H_2 40.0%　2. O_2 0.5%　3. N_2 40.0%　4. CH4 0.5%
5. CO 0.1%　6. CO_2 19.3%

無機ガスの分析例（カラム：MS5A & PPU)



燃料電池燃料改質ガス分析例
CO 10 ppmの分析（カラム：MS5A /BF)

環境・エネルギー科学

Environmental Science / Energy Science

環境分析用　分野別機器一覧

揮発性有機物成分

Agilent 7890A GCシステム
ガスクロマトグラフ

Agilent 6850シリーズGCシステム
ガスクロマトグラフ

Agilent 7820シリーズ GCシステム
ガスクロマトグラフ

Agilent 3000 マイクロGC
ガスクロマトグラフ

Tekmar Stratum パージ&トラップ
パージ & トラップシステム

Agilent 5975C シリーズ MSD
質量選択検出器

Agilent 7000A
トリプル四重極 GC/MS

Markes Unity2
サーマルデソープションシステム

Agilent G1888ヘッドスペースサンプラ
ヘッドスペースサンプラ

GERSTEL TDS
加熱脱着導入システム

難・不揮発性成分

Rapid Resolution
LCシステム (RRLC)

自動クォータナリ
LCシステム

Agilent 1120 Compact LC

FEONTIER LAB PY2020iD
熱分解総合分析システム

Agilent 6100シリーズ
LC/MS

Agilent 6400シリーズ
トリプル四重極

Agilent 6200シリーズ
TOF LC/MSシステム

Agilent 6500シリーズ
Q-TOF LC/MS

イオン性成分

Agilent 1200シリーズ
分取精製システム

CE-TOFMSメタボローム
分析システム

Agilent 7100
キャピラリー電気泳動

金属類（ICP-MS）

Agilent 7700シリーズ ICP-MS

生物影響（毒性・微生物・バイオテクノロジー）

Agilent 5975C
GC/MSシステム

Agilent 6400シリーズ
トリプル四重極

Agilent 2100
バイオアナライザ

DNAマイクロアレイ
スキャナ

Mx3000P/Mx3005P
リアルタイム定量PCRシステム

環境・エネルギー科学

地球化学分野

レーザアブレーションICP-MSシステム

対象　岩石、鉱物、結晶、耳石など
検出　ほとんどの元素。多元素同時。
特長　・高感度（固体中でサブ ppm以上）
・酸分解等の前処理不要
・スポット～微小領域（数十 μm^2～数 mm^2）
・高速分析（1検体数分）

レーザの照射パターン

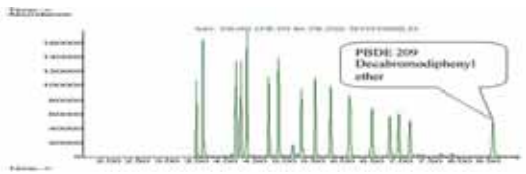
システム構成
・ICP-MS本体
・ケミステーション
・レーザアブレーション装置

システム価格
・ICP-MS本体（ケミステーション含む）
2,450万円～（税別）
・レーザアブレーション装置
2,015万円～（税別）

材料化学分野

ICP-MSシステム

対象　樹脂、セラミックス、金属、シリコンなど
検出　ほとんどの元素。多元素同時。
特長　・高感度（固体中でサブppm以上）
・Octopole Reaction Systemによる多原子イオン干渉の低減
・高速分析（1検体数分）
オプション　GC-ICP MSシステム



分析例：臭素系難燃剤PBDEs

システム価格
・ICP-MS本体（ケミステーション含む）2,450万円～（税別）
・GCインターフェース　140万円～（税別）
・GC (7890A)　300万円～（税別）

食品科学

Food Science

アジレントがサポートする主な研究分野

食品基礎系

天然物、分子生物学など

- HPLC, LC/MS, GC/MSによる天然物分析
- TOF/Q-TOFによる未知物質の探索と同定
- CE-MSによるメタボロミクス研究
- バイオアナライザによるRNA系研究
- DNAアレイによる遺伝子発現系研究
- Q-PCRによるトキシコロジー研究
- 試料用前処理ワークフロー

食品機能系

栄養・機能性成分、食品設計など

- HPLC, GCによる栄養成分の分析
- LC/MS, GC/MSによる化学物質の分析
- TOF/Q-TOFによる機能性物質の探索と同定
- CE-MSによる有機酸、アミノ酸類の分析
- DNAアレイによる有用微生物遺伝子研究
- ICP-MSによる微量金属の測定
- 試料用前処理ワークフロー

食品安全系

分析化学、食品衛生など

- HPLC, GCによる化学成分の分析
- GC/MSによる農薬類の分析
- LC/MSによる動物用医薬品の分析
- LC/MSによるカビ毒の分析
- TOF/Q-TOFによる未知汚染物質の検出
- ICP-MSによる有害金属類の分析
- Q-PCRによるGMO微生物の検出
- 試料用前処理ワークフロー

食品製造系

加工技術、有用微生物など

- GC/MSによる香りの分析
- 各種分析機器による測定
  - -食品中の成分変化
  - -有用微生物の代謝系の変化
  - -原材料の起源判別
  - -包装材の評価
- 試料用前処理ワークフロー

アジレントがご提供できるシステム

香り、農薬、添加物等の揮発性のある有機物の分析なら

GCシステム
システム価格
300万円～（税別）

GC/MS/MSシステム
システム価格
2,500万円～（税別）

有害な重金属や栄養価値の高い微量金属元素分析なら

ICP-MSシステム
システム価格
2,450万円～（税別）

動物性医薬品・農薬や添加物の極性の強い有機物の分析なら

汎用LCシステム
システム価格
200万円～（税別）

LC/MS/MSシステム
システム価格
3,400万円～（税別）

病原微生物や遺伝子組み換え作物の分析なら

リアルタイム定量PCRシステム
システム価格 **350万円～（税別）**

Food Science

機能性食品マーカー探索・ターゲット定量

アジレントなら、揮発性のある化合物から、高極性の化合物まで、幅広い機能性成分やマーカー成分の検出などの測定が可能です。微小ピークも検出できるMFE機能と多群比較が多変量解析ソフトの利用により、MSデータの主成分解析、因子解析、クラスター解析などが行えます。新たなバイオマーカーの検出や化合物の挙動の把握などの様々な研究を支援します。

極性化合物・ペプチド・タンパク分析

LC/Q-TOF MSシステム
システム価格 6,800万～（税別）

Agilent
MS用多変量解析
ソフトウェア
代謝物データベースソフトウェア

多変量解析ソフトウェア Mass profiler professional
価格 160万円～（税別）

各種ソフトウェア・ライブラリ（一例）
- **MS用多変量解析ソフト**（Mass Profiler Professional）
- **化合物/代謝物同定ソフト**（Chem/Metabolite ID）
- **構造推定支援ツール**（MS/MS Structure. Cor. **開発中**）
- Fiehn**メタボロミクス**GC/MS RTL**ライブラリ**

揮発性化合物

GC/MSシステム
システム価格 1,200万～（税別）

イオン性低分子

CE/TOF MSシステム
システム価格 5,200万～（税別）

緑茶中のカテキン類・アミノ酸分析におけるLC/MSとCE/MSの比較

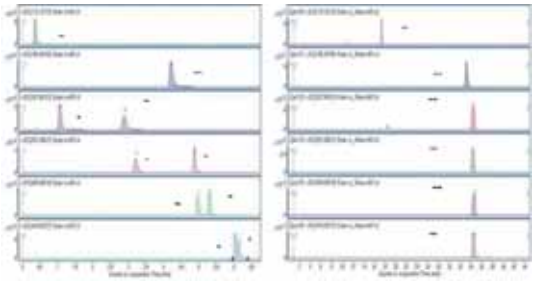


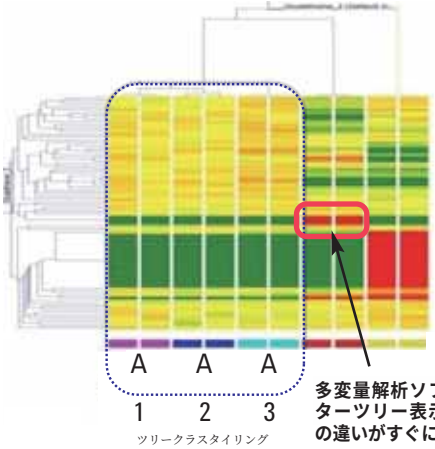
図1. 緑茶A中のカテキン類及びカフェインのマスクロマトグラム/エレクトロフェログラム（左：LC/Q-TOF、右：CE/Q-TOF）

図2. 緑茶A中のアミノ酸のマスクロマトグラム/エレクトロフェログラム（左：LC/Q-TOF、右：CE/Q-TOF）

カテキン分析にはLC/MSの分離が優れている

アミノ酸の分析にはCE/MS分離が優れる！

さらに様々な実験系でのサンプルを分析し、多変量解析による特異的ピークの検出が容易になり、マーカー探索も可能となります。アジレントでは、イオン性化合物測定に対して最適な機器群を提供します。GC～HPLC、CEそして多変量解析ソフトウェアまで、トータルソリューションをワンベンダー提供します。



多変量解析ソフトのクラスターツリー表示で、データの違いがすぐにわかります。

物質材料科学

Material Science

低分子から高分子の精密質量分析へ

アジレントのLC-TOFおよびLC Q-TOFシステムは合成サンプルの精密質量測定、合成不純物のプロファイリング、未知物質の同定に強力なツールです。最高５桁のダイナミックレンジで定性だけでなく定量も可能です。オートサンプラとWalk-upシステムの組み合わせで、合成の研究者に開放して簡単に分析することができます。

- **高分解能**　＞20,000FWHM @ m/z 1,522
- **精密質量正確さ**　＜2 ppm @ MS (typical 1〜2PPM),
  ＜5 ppm @ MS/MS (6530 Q-TOF)
- **質量範囲**　m/z 25-20,000

システム構成
- 1290 LC DAD**システム**
- 6230 TOF MS**システム**
  または 6530 Q-TOF MS/MS**システム**
- MassHunter **ソフトウェア**
- **窒素発生装置**

システム価格 **4,000万円〜（税別）**

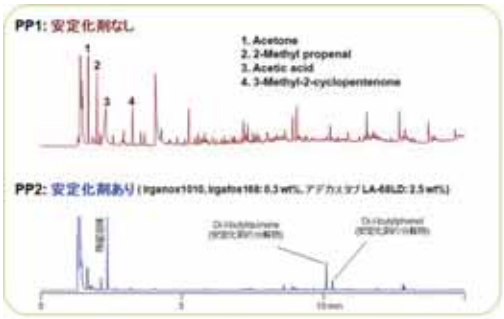
材料の加熱脱着・熱分析システム

アジレントのGCおよびGC/MSシステムは化学物質の熱分解による生成物の同定や、発生ガスの同定に最適です。また各種廃プラスチック燃焼物の分解物や中間体などの同定が可能です。専用ライブラリーによるポリマーの可塑剤同定、キャラクタリゼーションも可能です。

GC/MS部
- **質量範囲：**m/z 1.6-1,050
- **EIスキャンモード感度：**S/N > 400（1 pg OFN）
- SIM/SCAN**同時測定可能トリプルアクシスディテクター標準搭載**

加熱脱着装置　**GERSTEL社製**
- **加熱炉温度範囲：**-50-400**℃（室温以下は液体窒素冷却）**
- **加熱炉昇温速度：**1-60**℃**/min

熱分解装置　フロンティア・ラボ社製
- **熱分解炉温度制御範囲：**40-800**℃**(1**℃毎**)
- **昇温速度：**1-100**℃**/min
- **ライブラリー(オプション)：ポリマー発生ガス、パイログラム及び添加剤ライブラリー**（F-Search Ver.2）



ポリプロピレンの分析例

フロンティア・ラボ **PY2020iD**
熱分解総合分析システム

パイロライザGC/MSシステム

システム構成
- 5975C GCMS**システム**
- **フロンティアラボ社製パイロライザ**

システム価格 **1,700万円〜（税別）**

GERSTEL TDS
加熱脱着導入システム

加熱脱着GC/MSシステム

システム構成
- 5975C GCMS**システム**
- GERSTEL**社製熱脱着システム**

システム価格 **1,700万円〜（税別）**

Forensic Science

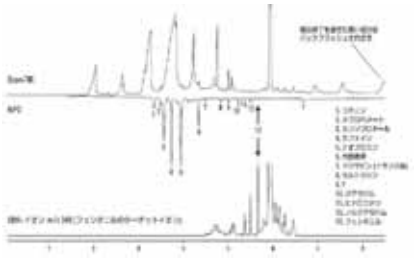
薬毒物分析システム

GC/MSでは各種薬毒物分析に対応した豊富なライブラリー（代謝物含む）を用意しており、容易にサンプルの解析ができます。リテンションタイムロッキング機能により、MSスペクトルだけでなく、リテンションタイムによる確認もでき、さらに正確な分析が可能です。複雑なマトリックス中の微量分析が必要な場合には、Agilent 7000シリーズ トリプル四重極型GC/MSシステムにより、高感度分析を提供できます。新しくなったオートサンプラでは内標準添加、誘導体化、自動希釈などの機能をオプションで追加することができます。

GC/MS部　ターボポンプ仕様
- **質量範囲：**m/z 1.6-1,050
- **EIスキャンモード感度：**S/N>400（1pg OFN）
- SIM/SCAN**同時測定可能**
- **トリプルアクシスディテクタ標準搭載**

オートサンプラ部
- **最大**150**検体**
- **大容量注入（オプションで**250ul**まで）**
- **誘導体化、内標準物質添加、自動希釈（オプション）**
- **サンプルの加熱によるヘッドスペースサンプリング（オプション）**

ケミステーション
- **日本語/英語** ChemStation **ソフトウェア**
- **デコンボリューション**RTL**法医学ライブラリ（**725**化合物収載　オプション）**
- Maurer/Pfleger/Weber MS Library 2007（7840**化合物　薬毒物、代謝物）**



全血サンプルのMS/NPD同時による薬物スクリーニング分析例
（アジレント法医学DRSライブラリ使用）

システム価格　1,200万円～（税別）

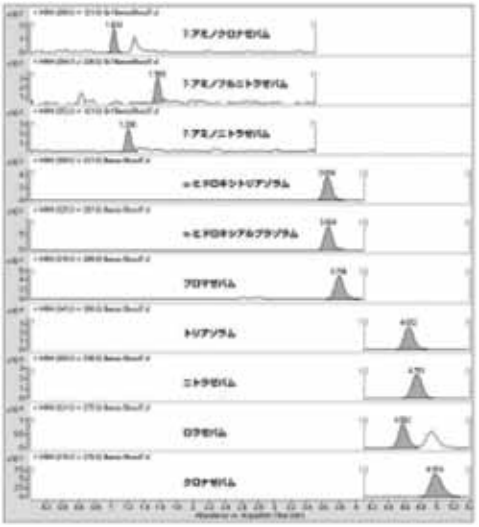
LC/MS/MSで各種薬毒物分析を行う際、定量イオンと確認イオンの比率が規定内にあることが重要なポイントとなります。アジレントソフトウェアの独自機能は、定量イオンと確認イオンの比率を自動計算でき、更にその感度と安定性を両立させることができます。またLC/MSDはサイズが最小でわずか 1 mあれば設置でき、LCの検出器の感覚で使用することができます（日本語対応）。全てのLC/MS群でオートチューニングが使用できます。アジレントではHPLCからMS（/MS）、データ処理装置までワンベンダーでサポートできます。

LC/MS/MS
- **質量範囲：**m/z 15-2,000～3,000**（上位機種）**
- **リニアー加速型コリジョンセル**
- **検出器：オフアクシス**HED**付**EM

LC/MSD
- **質量範囲：**m/z 10-1,500**（上位機種：**2-3000 m/z**）**
- **直行型ワンタッチスプレー方式ネブライザ**
- **日本語ワークステーション**

HPLC部
- **コンベンショナルから超高速高分離**LC**まで対応可能**
- **豊富な検出器群（**DAD, FLD, ELSD, RI**など）から選択可能**

ワークステーション
- MassHunter**による市販**Excel like**な充実した定量レポート機能**
- **パラメータレスによる自動積分機能（マニュアル積分不要）**
- **フルオートチューニング**



LC/MS/MSによる血液から抽出されたベンゾジアゼピン（25 ng/mL）：定量イオン、内部標準は非表示

Agilent 6100シリーズ LC/MS

システム価格　1,700万円～（税別）

Agilent 6400シリーズ トリプル四重極

システム価格　3,400万円～（税別）

LC/MSのラインナップ

Agilent 6000 シリーズLC/MS

アジレントは質量分析計の総合メーカーとしてLC/MS、CE/MS、GC/MS、ICP-MSを取り揃えています。

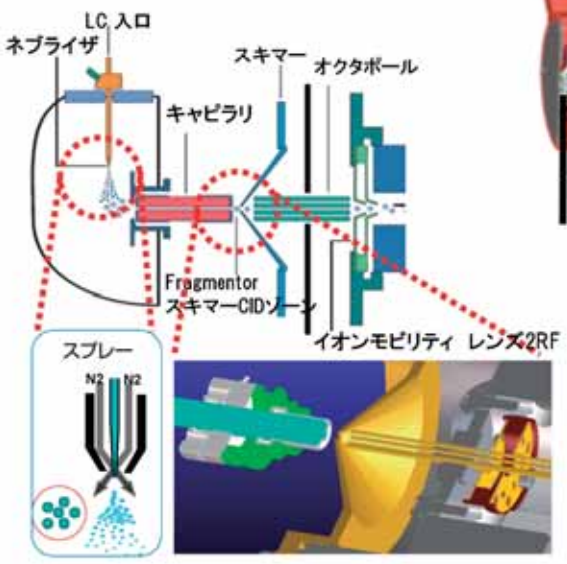
Agilent 6200 TOFシリーズ
価格 2,900万円～（税別）

Agilent 6500 Q-TOFシリーズ
価格 5,600万円～（税別）

Agilent 6100 シングル四重極シリーズ
価格 1,300万円～（税別）

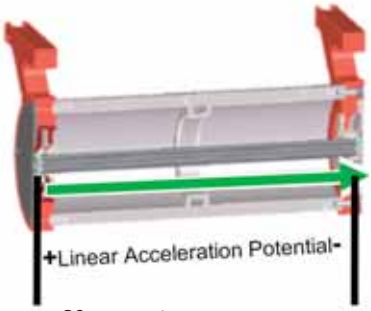
Agilent 6400 トリプル四重極シリーズ
価格 2,900万円～（税別）

Agilent LC/MSのキーテクノロジー



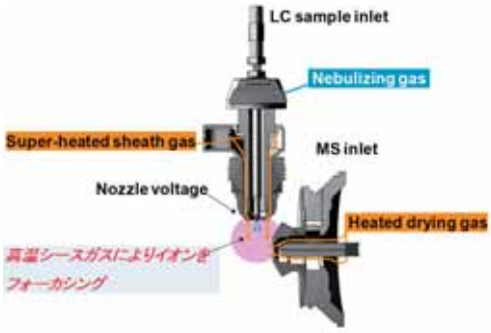
Agilent 6000**シリーズ**LC/MS**のネブライザ**
「高圧窒素ガスアシスト」と「2層テーパー形状」のネブライザの採用により、微細で均一な粒子を噴霧することで、高い乾燥効率を実現しました。

イオン光学系
段階的に真空度を上げたイオンパスにより、イオンがクラスタになることを最小限に抑え、ノイズを極めて低く抑えることができます。また、マトリクスイオンの影響を最小限に抑制します。



Q2 ヘキサポールコリジョンセル

Agilent 6400**トリプル四重極シリーズ、6500 Q-TOFシリーズのコリジョンセル**
四重極に比べてイオン透過率の高い六重極を採用しています。アジレントの「リニアアクセラレーション型」は1 msec以下でイオンをQ3へ送り込むことができ、クロストークを気にする必要は全くない、堅牢でシンプルなコリジョンセルです。



Agilent Jet Stream Thermal Focusing Technology
Agilent 6460トリプル四重極、6530/6540 Q-TOFでは、イオンの乾燥効率を向上させるとともに、シースガスとしてイオンを導入口にフォーカスするというユニークな技術を開発しました。この技術革新により、定量分析では超高感度MRM分析、定性分析ではこれまでに同定することができなかった微量成分を見つけ出すことが可能になります。

GC/MS, ICP-MSのラインナップ

GC/MS,GC/MS/MS and ICP-MS

GC/MS, GC/MS/MS and ICP-MS

Agilent 5975Cシリーズ GC/MSD

5975C GC/MSDシステムは、安定した不活性イオン源、独自の石英製一体型四重極、新設計トリプルアクシスディテクタから構成されています。これらの最強の組み合わせにより、すぐれたMS分解能、完全なスペクトル、より低い検出下限が実現されました。また、最高12,500 u/秒の高速スキャンを誇るエレクトロニクスにより、スペクトルを測定するフルスキャンと特定のイオンをモニターするSIMとが同時に取り込みができるようになり、目的化合物の定量と未知成分の定性が１度の分析で提供できます。

特長

- **独自デザインの石英製一体型四重極は、200℃まで温度をかけることができるので、よごれを防ぎ長期間安定したパフォーマンスを提供**
- **新しいトレースイオン検出技術と、トリプルアクシスディテクタの採用により、ノイズを最小限に抑え非常に高いS/N比を誇る**
- **デコンボリューションソフトウェアとリテンションタイムロッキングデータベースにより、分析後のデータ解析を自動化し、信頼性の高い結果を迅速に得ることが可能**

Agilent 5975C MSD

Agilent 7000シリーズ トリプル四重極GC/MSシステム

7000シリーズ トリプル四重極GC/MSシステムはアジレントの質量分析（MS）製品群の最新製品で、MRMモードで複雑なサンプルの「ターゲット化合物分析」を行う科学者にとって、本システムの提供する感度と選択性は画期的なものです。このシステムは、従来のシングル四重極での SIM モードよりも低い検出下限を実現し、メソッドの信頼性とラボの生産性を高めます。

特長

- MS/MS **モードにおいて**100 fg OFN、SN**比** 100：1**という画期的な高感度**
- **毎秒**500**トランジションという業界最高の**MRM（**マルチプル リアクション モニタリング**）**スピード**
- **独自の双曲面四重極により、質量範囲を** 1,050 u**にまで向上：石英製一体成型四重極に特有の安定性により、**200℃**までの加熱が可能で、一般に低温で見られるコンタミネーションを低減**

Agilent 7000シリーズ トリプル四重極GC/MSシステム

Agilent 7700シリーズICP-MS

7700シリーズICP-MSは生産性、操作性、感度の向上、バックグラウンドの低減、干渉除去機能の向上、フレキシビリティ・メンテナンス性を向上し、コンパクトな筐体に全てを凝縮しています。アジレント独自の第3世代コリジョンセル、オクタポールリアクションシステムORS^{3}は分析結果に影響を与えるスペクトル干渉を除去するために、7700シリーズICP-MSに標準搭載され、Heモードでほとんどすべてのアプリケーションに対応することができます。

特長

- **高マトリクス導入（HMI）キットは**7700x**に標準搭載され、**ICP-MS**では初めて溶解固形分の高い、無希釈海水のようなサンプルを直接分析可能**
- **アジレントの優れた**LC**や**GC**とのインターフェースもオプションとして追加ができ、元素の化合物種を定性定量するスペシエーション分析を提供**
- **オートチューニングにより簡単にかつ効果的にシステムを最適化することが可能**
- **インターフェースはワンタッチでアクセスでき、容易にサンプリングコーンのメンテナンスが可能**

Agilent 7700シリーズ ICP-MS

カラム&消耗品

Agilent Columns and Supplies

Agilent ZORBAXシリーズHPLCカラム

研究開発から QA/QC のルーチン分析まで、そして高速分析から分取まで。Agilent ZORBAX シリーズHPLCカラムはお客様の分析に合った最適なソリューションを提供いたします。特に、Rapid Resolution HT (1.8 µm) と Rapid Resolution (3.5 µm) カラムを利用したワイドレンジでのハイスループット分析に最適です。

ZORBAX Rapid Resolution High Definitionカラム New

ー最大で 1200 bar まで使用可能ー

ZORBAX Rapid Resolution High Definition (RRHD) カラムは、粒子径1.8 µmの ZORBAX カラムのラインナップをさらに拡張した製品です。この新しいRRHDカラムは、充填プロセスの最適化により、Agilent 1290 Infinity LCや、他社高耐圧HPLC で使用可能な最大1200 barの耐圧と安定性を実現しました。RRHD 1.8 µmカラムは、非常に複雑なサンプルを高速または高分離での分析が可能となる、長さ 50、100、150 mmのものが用意されています。

特長

- **Agilent 1290 Infinity LCまたは他社高耐圧HPLC装置で最適な結果の達成が可能な超高圧（1200 bar）カラム**
- **1.8 µmの粒子径により最高の分離能を実現**
- **優れたピーク形状を実現するZORBAX Eclipse Plus C18と、選択性および低Phでの安定性に優れたZORBAX Stable Bond C18、C8の３種類の結合相を用意**
- **一般的なLCの分析結果との互換性を確保するために、同一の結合相を使用した3.5および5 µm ZORBAXカラムと同じ選択性を示す**

価格 3.5万円～（税別）

Agilent カラーマニュアルシリンジ ― カラフルな色でシリンジ容量を識別―

分かりやすく色分けされたバレルにより、シリンジの容量が識別しやすくなり、ラボが色鮮やかになります。希釈、抽出、拡張、またはサンプル前処理の各作業を手動で行う場合、アジレントのマニュアルシリンジを使えば、容量（0.5 µL ～ 50 mL）ごとにガラス製バレルの色が異なるため、すばやく簡単にシリンジを見分けることが可能です。

特長

- **シリンジバレルの色がシリンジ容量を示し、一目で識別可能**
- **パッケージ内部の保護材がシリンジ立てとして機能**
- **作業中のコンタミネーション回避、作業スペースの確保に有用**
- **環境に優しく、容量も識別可能な新パッケージ**
- **シリンジバレルにロット番号印刷**
- **シリンジ容量：0.5 µl～50 mlの全16サイズ**

価格 3,600円～（税別）

サポート

お客様の視点からサポートを考える。
アジレントのサポートの基本はそこにあります。

アジレントは設立から今日まで、お客様の幅広いご要望にお応えできる経験と実績を蓄積してきました。それは、カストマサポート体制も例外ではありません。カストマサポートに携わるエンジニアはひとりひとりがプロフェッショナル。お客様の問題を一秒でも速く解決し、常にベストの状態で製品を使い、そして最高の分析結果を出していただく。これがカストマサポートの理想であり、私たちの願いです。

アジレントには、次のサポートがあります。

- **機器の操作・修理に関する質問は《テレフォン・コンサルティング》**
- **分析手法・機器のご提案、導入は《アプリケーションサポート》**
- **機器の定期的な点検に《Agilentメンテナンス》**
- **安心の機器運営のための《リモートアドバイザー》**
- **導入後の機器活用は専用ラボで丁寧な《カストマトレーニング》**
- **規制対応をバックアップ《コンプライアンス・サポート》**

カストマコンタクトセンター

カストマコンタクトセンターは電話・FAXのみならず、メールやWEBでもお客様からのご質問を受け付けています。お客様が日常の操作を行ううえで「マニュアルどおりに動かない」「故障かどうかわからない」「ピーク、スペクトルがいつもと違う」などの分析機器に関するご質問に分析機器のスペシャリストがお答えします。カストマコンタクトセンターには月平均で約6,000件以上のご相談が寄せられます。そのうち実に5,000件はカストマコンタクトセンターで解決しています。

アジレント アドバンテージ サービス

アドバンテージ サービスは、ラボのパフォーマンス向上を実現するためのアジレントのサポートプランです。

アドバンテージゴールド
一時のダウンタイムも許されないクリティカルな状況に対応。常に稼働し続ける必要がある重要なシステムに対し、最優先対応が必要な場合に適したプランです。

アドバンテージシルバー
ラボの生産性を最適化することが重要な場合。ゴールドの最優先対応は必要ないが、システムとラボが最高レベルで稼働し続けるように維持させたい場合に最適です。

アドバンテージブロンズ
厳しいコスト管理の必要がある場合。
突発的な修理に備えて、修理用補修部品と消耗品を含む修理費用を年間定額で計画したい場合に最適です。

価格 20万円～（税別）

バリュープロミス　ー10年サポートのためにー

アジレントの製品は販売終了後、7年間の修理部品保有をお約束しています。しかし、多くのお客様は10年間のサポートを希望されております。そのためアジレントは、アセットマックスと呼ばれるベストエフォートの年間保守契約を組み合わせることで、10年間のサポートを提供しています。アセットマックスが適用できない機器に関しては、10年間に満たない年数に応じてその価値を提供する、バリュープロミス プログラムを適用させていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社
TEL.0120-477-111 / FAX.0120-565-154　本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
www.agilent.com/chem/jp
©Agilent Technologies, Inc. 2009
5990-4480JAJP
Printed in Japan. Aug. 17, 2009

［お問い合わせ窓口］

Agilent Technologies